



発行所
 山形県立寒河江工業
 高等学校 P T A
 山形県寒河江市緑町148
 電話 (86) 4278

第 64 号
 平成23年2月15日



日頃より保護者の皆様には、PTA活動に対してご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。早いもので平成二十二年度も間もなく終りを迎えようとしています。

さて、今年のPTA活動を振り返りかえってみますと、四月のPTA総会から始まり、六月末からは夏期地区PTA懇談会が行われ、親子ボランティア活動ではたくさんの方からご協力をいただき地域に根ざした有意義な活動となりました。

七月の親子一年間を振り返って

子リクレーション大会
では、大会
当日まで不



PTA会長

酒井原 康志

最後にな

安定な天気で、最後までブレブレ出来るのか心配しましたが、スタッフや参加者の方よりグランド整備等ご協力いただき無事終えることが出来、会員の方や親子あるいは他の地区の方々との交流や親睦を深めることが出来ました。

九月の寒河江みこし祭りへのハイテクみこしの参加については、今年は何年にもない猛暑ということで、熱中症対策など心配をしておりましたが、天気にも恵まれ、子供達と一緒にみこし祭りを盛り上げる

ことが出来ました。

十月の寒工祭では、多くの保護者より出展があり、大勢の皆様から足を運んでいただきました。

また、来年度は県高P連研修会で本校が発表校になっておりますので、事前活動というところで、夏期に「子供育成」に関するアンケート調査を行いました。お陰様で、多くの保護者の皆様より貴重なご回答をいただきました。得られました内容について分析を行って、今後のPTA活動に役立ててまいります。

一年間を振り返って

今後のPTA活動に役立ててまい

最後にな

りますが、私がPTA会長を何とか務めてこられましたのもPTA役員の皆様の協力やお力添えなくては出来なかったと思います。正直、後ろを振り返る余裕もありませんでしたから、何かと至らぬ点があったかと思えます。これからの寒工高の更なる発展を祈っています。一年間ありがとうございました。

各専門部より

一年を振り返って

総務部部長 斎藤清司

平成二十二年春 総務部部長という大役を頂き一年間PTA会員の皆様方及び先生方の御協力で総務部としてのPTA活動が順調に終了した事に対して御礼を申し上げます。又各専門部の部長さんをはじめ役員の皆様方にも、御礼を申し上げます。

今年度は夏にアンケートの協力を頂き有難うございました。今後のPTA活動への参考にもさせて頂きたいと思えます。

最後に本当に一年間御協力有り難うございました。今後のPTA活動の益々の活躍を願います。本当に有り難うございました。

十三地区の皆様、ご苦勞様でした

育成部部長 阿部 一

育成部最大の行事である「親子ボランティア」。今年度も、各十三地区それぞれ独自の特色を生かした活動が、かくも盛大にそしてさわやかに

に開催され、大成功の結果をもって終了することができました。

各地区の育成部長はじめ、役員の方々、お父さんお母さんの方々、そして生徒の皆様大変にご苦勞様でした。

県内高校の統合などが話題とされている昨今ですが、そんな中、活発でしかも独特の寒工PTA活動がクローズアップされていきます。プロ野球巨人名誉監督の長嶋さんの言葉をお借りすれば、「寒工の伝統の輝きと偉大な功績は永久に不滅です」と宣言申し上げます。御礼のあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。

多数の参加 ありがとうございます

体育部部長 武田 健

「第三十三回PTA地区対抗レクリエーション大会」がハッスルプレー連発の中、無事終了しました。

当日は、朝から雨脚が強くソフトボールの開催が危ぶまれましたが、雨も収まり一時間程遅れてのプレーボールと

なりました。一方、体育館ではソフトボールが行われ、力の入った好プレーが観られました。どちらの競技も一点を争うデッドヒートが繰り広げられ、その結果、ソフトボールは寒河江西部地区がそれぞれ優勝を飾りました。

今大会の大会運営や準備等に御協力頂きました学校、先生方に感謝を申し上げます。

文教部活動を振り返って

文教部部長 佐藤勝則

平成二十二年度のPTA活動もあと少しとなりました。文教部では、今年度の新しい取り組みとして、毎年二回発行されるPTA新聞に名前をつけることとしておりました。第二回PTA新聞編集会議におきまして、PTA会員の皆様の公募の中から「輝くエンジニア」に全会一致で決定いたしました。皆様のご協力にありがとうございます。皆様のご協力をありがとうございます。PTA新聞が、子供達が輝くエンジニアとして、巣立つていける手助けに少しでもなれば幸いです。最後になりますが、PTA新聞作成にありご協力いただきました皆様本当にありがとうございました。

保護者の皆様には、本校の教育活動に対して日頃より御理解と御協力を頂き感謝申し上げます。

このたび、名前のなかった P T A 新聞が「輝くエンジニア」と命名され、本号が記念すべき号となりました。大変うれしいことです。寒河江工業高校を表すいい名前です。これはご存じのとおり、校歌からの引用です。校歌ができたのは創立3年目の昭和40年、山形出身の神保光太郎氏に作詞を依頼していただきました。神保氏は本校にやってきました講演で「若きエンジニアがんばれ」と一言だけ言ったそうです。伝統ある言葉をこれからも校歌と P T A 新聞で受け継いでいきたいものです。22年度を振り返るといろいろありますが、その中で、3年間の取組となった「ものづくり産業担い手育成モデル事業」が最終年度でした。工業団地に隣接しているという立地条件を活かして、生徒の企業実習、教員研修、小中学校との連携などの事業を展開してきました。技能検定合格者



「輝くエンジニア」がんばれ

校長 吉田 敏明

数の増加など数々の成果を上げることができました。その成果が新聞などにも掲載されました。これからもモノづくりに関わることへの誇りを持ち、地域とのつながりを大切にしながら、地域産業を担う生徒を育てていきたいと思えます。

先ごろ西村山の高校再編整備計画の骨子が発表されました。計画によると、本校は25年度の入学生から1学級減じられ3学級となり、それに伴い、学科改編が行われます。また、将来の統合も視野に、左沢高との連携交流を行う県内初のキャンパス制を導入するとされています。学級数が減ってしまうのは残念ですが、学校は残ります。さらに魅力ある学校作りにもむけて努力してまいります。

本校は創立47周年、まもなく半世紀の歴史を刻む事になります。今後とも伝統を受け継ぎながらも、新しい事にチャレンジして、モノづくり教育を推進していきます。どうぞよろしく願います。

総務部

平成二十二年度 学校評価アンケート

総務部長 伊藤 一夫

会員の皆様からアンケートにご協力頂きありがとうございます。概要は、次の通りです。

○回収率は、九〇・一%。
○昨年度と各領域ごとの全体平均値は、すべて同じ。

今後、記述部分を含めて結果を分析し、来年度に活かしていきたいと思えます。

○各領域の平均値は、全て三点以上。
○三点未満の項目は、⑦のみ。

進路面 table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 3 rows of survey items.

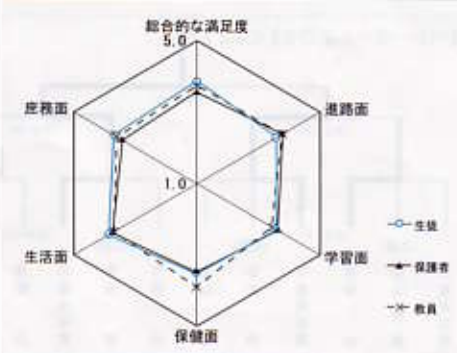
学習面 table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 8 rows of survey items.

保健面 table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 2 rows of survey items.

生活面 table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 4 rows of survey items.

応務面 table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 4 rows of survey items.

総合的な満足度 table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 1 row of survey items.



地域産業の担い手育成 プロジェクト成果発表

クラフトマン事業局 高橋直人

平成二十年度から取組んできた「地域産業担い手育成プロジェクト」の成果発表会が十二月二十一日、山形テルサを会場に行われました。この中で、「つながる」という言葉が本事業には大切であったことを、伝えることができたと思います。

本校は、この三年間で、工業団地に隣接した立地条件を活かして、様々な取組を実施してきました。その中から、重点項目である、「企業実習プログラム」・「教員の高度技術習得」の2項目と、「小中学校との連携事業」を主に発表しました。また、展示ブースでは、産学官共同研究（温度や照度等の遠隔操作、監視を目的とする無線センサーネットワーク）や、地域情報ネットワークや技術ロードマップ（シーケンス制御DVD）などを発表することができました。

本校は、この三年間で、工業団地に隣接した立地条件を活かして、様々な取組を実施してきました。その中から、重点項目である、「企業実習プログラム」・「教員の高度技術習得」の2項目と、「小中学校との連携事業」を主に発表しました。また、展示ブースでは、産学官共同研究（温度や照度等の遠隔操作、監視を目的とする無線センサーネットワーク）や、地域情報ネットワークや技術ロードマップ（シーケンス制御DVD）などを発表することができました。



○人的地域ネットワークの構築



この事業をとおして、「地域」・「企業」の協力がなければこの事業を実施することはできなかったということが改めて分かり、地域・企業の「地域で人材を育てよう」という気持ちを熱く感じることができました。その結果、「地域」・「企業」・「学校」が三位一体となり、生徒が将来地域のものでつくり産業を担っていくための「力」を育成できるネットワークを構築できたことは大きな成果だったと思います。

三者がつながり人的地域ネットワークを構築できたことにより、生徒のものづくりに取り組む環境が、より整いつつあります。

今後、このネットワークを生徒に還元できるように精選・工夫して行きたいと思っています。

ボランティア・シリーズ

「感謝」

朝日地区PTA会長

菅井 誠吾

毎年恒例の朝日地区親子奉仕活動が、七月十日に「特別養護老人ホームふれあい荘」にて行われました。

作業内容は施設内の窓ガラス磨きで、生徒達と母親が中心に、普段手の届きそうに無い所まで磨き上げるという気配りを見せてくれました。そんな男子学生の懸命な姿が入居者の目は勿論、保護者の目にも頼もしく感じた事と思います。父親を中心とした作業は施設敷地周りの草刈です。幸いにも朝日地区は農業従事者も多数いる関係上、草刈のブロが揃っています。伸び放題の草もあつという間に短く刈り上げられ、きれいになった周りの環境は清涼感が漂います。

今年も町民道路清掃と重なり、保護者の皆さんも忙しく大変でした。来年からは重ならない様にしたいと思います。ボランティアで親子一緒に活動する貴重な時ではないかと思いましたが、奉仕活動に、参加、協力ありがとうございます。

「町をキレイに」

中山地区PTA会長

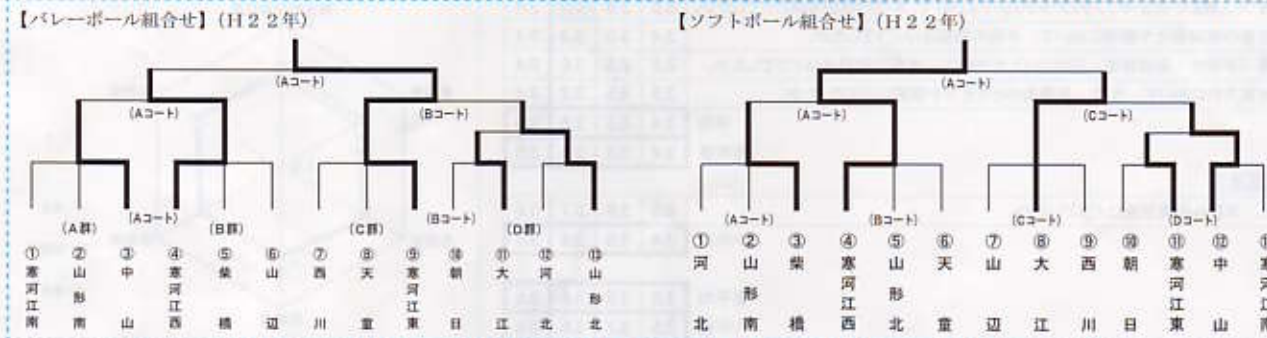
峯田 光雄

今年も、寒工高中山地区のゴミ拾い、空き缶拾いのボランティア奉仕活動を、七月四日に県野球場の敷地内で行いました。

当日は生徒達と保護者の皆さんの日頃の行いが良いのか晴天になりました。育成委員が中心となり、約一時間活動しましたが、駐車場内に吸い殻の投げ捨てが目立ちました。喫煙所か灰皿のある場所に捨てて、ボランティア活動に協力していただきたいと思えます。それから野球場関係者より、ゴミ袋等の支給がありました。ありがとうございます。

今年も町民道路清掃と重なり、保護者の皆さんも忙しく大変でした。来年からは重ならない様にしたいと思います。ボランティアで親子一緒に活動する貴重な時ではないかと思いましたが、奉仕活動に、参加、協力ありがとうございます。

レクリエーション結果



技能検定 合格への取り組み

情報技術科長 寺西 亮

本校では多くの技能検定に
取り組んでいます。その中で
情報技術科と電子機械科では
電子機器組立作業の二級・三
級合格に向けて取り組んでい
ます。

電子機器組立作業の二級と
は、シャーシ、プリント基板
I C、トランジスタ等の部品
を用い、東線は東線図を参考
として東線を作製し、省エネ
コントローラの組立てを行
います。半田付けをした時の半
田の量や光沢、配線の束ね方
や部品の位置など仕様書通り
に組立てを四時間三十分の試
験時間内で完成させます。企
業の方々と一緒に受験しまし
たが、今回の二級全体の合
格率は四二・六％と大変難く、
高校生にはレベルが高く、高
度な技術を必要とする検定で
す。

今年度は、情報技術科三年
の金子慧理香さん、軽部竜平
君、佐藤貴也君、星野佑典君
の四名が見事に合格しました。
特に金子さんは、この検定で
は高校生の女子としては東北
初の合格です。また、三級も
十名の生徒が合格しました。
大変頑張った素晴らしい結果
でした。

今年度でクラフトマン事業
が三年目を迎え、最終年度に
なりました。その事業の中で
多くの検定の合格者を出すこ
とができました。これも O B
の先輩方々から直接技術指導
を頂き、高度な技術を学べた
ことが大きな要素となってい
ます。また、今回合格した四
名は、前年度に三級の合格を
経て二級へ挑戦しました。三
級でしっかりと基礎・基本を
学んだことが二級の合格への
土台となっています。

技能検定に向けて取り組む
たびに、O B の先輩方や地元
企業の方々から熱心にご指導
を頂いています。本当に地域
密着型の学校であることを感
じます。これからも多くの生
徒が技能検定を通し、高度な
技術を見て、体験し、身に付
け、本
校を羽
ばたき、
社会に
貢献で
きるこ
とを切
に願
います。



修学旅行に想う

二年主任 大相 英順

様々な情報が簡単に得られ、
交通の便も良くなり誰もが気
軽にどこにでも行ける現在に
おいて、修学旅行の意義・意
味はどこにあるのでしょうか。
一つにはやはり実際にその
場に行ってその空気を吸
い、その人々と触れ合う
バーチャルではない実体験が
できること。もう一つは多感
な高校生この時期に、三年
間を共にし生涯の友となるか
もしれない仲間と体験を共有
し、思い出を作ることによ
うか。

我々二学年は校長先生を団
長として十一月十四日から三
泊四日で関西方面に行ってい
きました。今回は比較的オーソ
ドックスなコースだったので
私には何回か行った所ではあ
りましたが、生徒諸君にとっ
ては初めての場所であろうし、
私自身も何度行っても新たな
気持ちになるものです。

今回、私の修学旅行での初
体験は神戸での「ディナーク
ルーズ」でした。この季節にし
ては向こうでも暖かかったら
しくデッキに出て潮風に当た
りながら神戸の夜景を楽しむ
ことができました。またここ
のホテルは修学旅行で私が経
験した中では最も豪華でした。
二泊目以降の京都の旅館は

いかにも修学旅行生用の宿と
いった感じでした。生徒達に
とつても初日のホテルとの落
差が激しかったようで、旅行
後の短歌コンクールの作品に
も多く歌われていました。

最終日、本校では半ばお
決まりの U S J に行きまし
た。ライド系の物にはほとん
ど乗ってききましたが、特に
ジェットコースターは「力と
加速度」「位置エネルギーと
運動エネルギー」といった物
理の絶好の教材になるので、
理科の教員としては生徒達に
もぜひ体験させたかったので
した。

最後に修学旅行の目的の一
つである「団体行動」につい
てですが、生徒諸君は時間も
厳守し、行動も概ね立派でし
た。事故やトラブルもなく全
員無事帰って来られたのは保
護者の方々や添乗員はじめ多
くの方のお陰と各人の注意や心
がけの賜
です。今
後はこの
成果を生
かして進
路希望達
成に力を
注いで欲
しいと思
います。



三年間を振り返って

前生徒会長 四釜 祐生

輝くエンジニアを目指し、
寒河江工業へ入学して、もう
すぐ卒業を迎えようとしてい
ます。三年間を振り返り、最
も印象に残っているのは、部
活動です。高校野球という今
までとは全く違う環境で、甲
子園出場を目指してがんばっ
てきました。しかし、高校野
球のレベルの高さ、厳しい指
導もあり、何度も挫折しそう
になりました。しかし、仲間
の支えもあって最後まで続け
ることができました。最後の
大会では、結果を残すことは
できませんでしたが、充実し
た三年間でした。

また、生徒会の活動では、
寒工祭や体育祭の企画、校外
でのボランティアなど、さま
ざまなことを体験することが
できました。特に印象に残っ
ているのは、寒河江みこし祭
りへの参加です。一年生の時
から参加して、三回目の今年
は、みこしを先導しました。
寒河江工業の技術の詰まった
ハイテクみこしと共に、寒河
江の町を練り歩いたことは、
忘れられない思い出となりま
した。
間もなく私たちは、一人一
人が持つ夢や目標に向かって
歩んでいきます。寒河江工業
で過ごした日々を忘れずに、
これからも歩んでいきたいと
思います。

山形工業高校、東根工業高校を經由して、昨年四月の異動により本校に赴任しました。

新任の先生より



未来のエンジニアへ

教諭 佐々木裕章

現在、機械科の三年

約十ヶ月間過ごして、PTA活動や地域社会との交流が盛んで、保護者や地域とのつながりを大事にしている学校であると感じました。また今年度も多数の技能士が誕生しましたが、生徒達が資格取得に意欲的に取り組んでいる姿も強く印象に残っています。

このように素晴らしい校風と成果をおさめています。工作機械を怖がっている生徒やものづくりを楽しんでいない生徒が予想以上に多く見受けられたことに驚きました。

生と課題研究に取り組む、一年生と文鎮作りに励んでいます。未来の輝くエンジニアへ、苦勞しながらも心を込めて作ることで得られる達成感やものづくりの楽しさも伝えていきたいと思っています。

保健部より

未来を考えられるオトナに

看護教諭 室岡由美子

先日、子どもを連れて近くの医院にインフルエンザワクチンを受けに行きました。医師は、「日本はワクチン後進国なんだ。」と言って、ワクチン先進国では十五〜六のワクチンを無料で受けられることを教えて下さいました。

高校生のはしか無料ワクチンが始まり今年度で三年目になります。絶滅可能な九五%を超えるにはまだまだ

遠い状況です。本校の接種率もやつと七割を超えたばかり。元気な子どもたちは、自分が病気になることや次の世代に病気が蔓延すると困るだろうなどということは想像することもないのだろうと思います。ちなみに、はしかの威力は大きな体育館に罹患者と十五分間一緒にいるだけで伝染するほどのすごさ。今の自分だけを考えるのではなく、少し遠い未来を考えられる、そんな大人になって欲しいものです。未接種の皆さん、未来の子どもたちのためにも、今すぐ病院へ行きましょう。

本校の目指す生徒像

三年主任 佐藤 繁樹

日頃よりPTAの皆さまをはじめOBそして、地域の方々からは本校の教育活動にご支援いただきありがとうございます。お陰様で今年度は百十九名の三年生が卒業を迎えます。

望に満ちた本校OBの方々にとつて、さぞ誇らしい学び舎だったのではないかとご推察いたします。

本校は今年で創立四十七年を迎え、この間、多くの工業人を輩出してきました。創立当初は、急な時代の要請に 대응べく突貫工事の中で創立だったそうで、見た目はまだ不完全な校舎でも高い志と希

ご存知のように本校は時代の情勢と要請により平成二十五年からキャンパス制が導入されますが、本校の目指す生徒像は変わることはありません。今後も高い志と希望に満ちた多くの工業人「輝くエンジニア」が輩出されますようにご支援よろしくお願いいたします。

進路指導部より

進路指導部長 阿部 繁憲

今年度も厳しい就職環境

一月二十日現在の県内求人数は189、県外求人件数は145です。今年度も県内・外の新規高卒の求人は回復せず、県外求人件数は昨年度比約二割も減少しています。また、県内求人については、関係者のご協力により件数では増加したものの、「求人一名」の募集が多くなっています。したがって、競争率は全般的に高くなり、二回目以降の不合格の割合が増加しています。合格内定率を見る限り、県外の

就職受験は昨年度以上に厳しくなっています。進学については、概ね第一希望で合格できました。今年度は、四年生大学への進学が増加し、県立産業技術短期大学校や山形職業能力開発専門学校、東北職業能力開発大学校にも多くの人が合格しています。残念なことに、成績不振や進学が就職かで迷っているため、進路活動が大幅に遅れてしまった人がいました。希望進路については、保護者ともよく相談の上、二年生の三月まで決定しておくべきです。卒業生の皆さん、いい仕事をして輝いてください。

お悔やみ

■土木科一年齋藤一馬君の母(浩美様) 十月十日
ご逝去

ご逝去を悼み、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

編集後記

今年度も、皆様のご協力により充実したPTA活動を行うことができました。

交通安全街頭指導、ボランティア活動、地区対抗レクレーションなどの活動の中で、多くの人たちのかかわりが、生徒の健全育成につながったのではないかと思います。PTA新聞の作成にあたり、お忙しい中ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。「輝くエンジニア」となったこのPTA新聞を通して、学校・家庭・地域の架け橋になるよう願っています。今後とも寒河江工業をよろしく願います。